



(旧和商)

公益社団法人

# 和商同窓会 会報



(新和商)

(発行所) 和歌山市砂山南 3 丁目 3-94 県立和歌山商業高校内 TEL 436-6456

## 「将来のあるべき姿」

理事長 小川 武



和商同窓会の皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素より、当同窓会の活動に格別の御高配を賜っており、ますます心より御礼を申し上げますとともに、PTAの皆様方並びに中村校長先生をはじめ教職員の方々の熱心な御指導に対し、深く感謝を申し上げます。

はじめに、優れた防災教育に取り組む子供や学校を顕彰する「令和3年度ぼうさい甲子園」において、和商の皆さんの取り組みが、ぼうさい大賞の中の最も優れた作品に贈られるグランプリに輝かれました。本県における防災は、とても重要な意味を持つテーマであり、災害時に必要な知見を学びながら地域と連携する姿勢が認められ、この度の御受賞に繋がったものと伺い、昨今のコロナ禍で地域全体に閉塞感が漂う中、私達に大きな喜びを与えてくださいました。改めまして、祝意と心か

らの感謝を申し上げたいと思います。

さて近年、急激に進展する人口減少や少子・高齢化は様々な分野への影響が懸念されています。

先日、和歌山県教育委員会は、将来のあるべき姿として「県立高校の再編整備指針案」を公表しました。この案は、県立高校における教育の充実を図るため、地域毎或いは学科毎の在り方が記されており、我が和商については、「商業関係の資格取得や商品開発・販売等の活動に取り組む生徒が多い」と期待される一方で、「ミッシヨンやポリシーを地域、中学生に示すことにより、明確な目的意識を持つた生徒の入学促進」や「将来の専門職等につながる大学や専門学校への進学の実績」が改善・改革の方向性として掲げられています。

いずれにしましても、和商は県内有数の商業系高校として、定員維持の上、存続すべきことはもちろんのこと、更なる専門的知識教育の充実に加え、地元産業界や大学、研究機関、そして地域との連携を深め、卒業後も地元に残り、和歌山の発展に資する優れた人材の育成を図っていかねば

## 変化する社会に挑戦を

学校長 中村 憲司



和商同窓会の皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申しあげます。普段から本校の教育活動に御理解・御協力と温かい御支援をいただき、厚くお礼申し上げます。御挨拶が遅れましたが、本年度4月に校長として赴任いたしました中村憲司と申します。本校教育の発

展に、微力ながら尽くして参りたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

新年度は、部活動の大会や商業関係の競技大会は全て中止となりましたが、今年度は、ほぼ予定どおり開催されました。部活動においては卓球部がインターハイに、競技大会においては、珠算・電卓・簿記、情報処理、ワープロ、英語スピーチの全国競技大会に出場しました。また、夏休みには本県で、第45回全国高等学校総合文化祭(紀の国わかやま総文2021)が開催され、本校からも多くの生徒が出席者又は大会運営者として参加し、大会の成功に貢献しました。

次に、進路関係に目を向ければ、就職については、一人



一社制から複数応募も可能となりましたが、混乱もなく無事に終えることができました。一方、進学については、和歌山大学に2名、関関同立に4名、産近甲龍・大経大には延べ20名が合格することができました。なお、関関同立4校全てに合格者を出したのは、本校にとって初めてのことです。

また、授業においても、「電子商取引」での取組が「ぼうさい甲子園」でグランプリを、「マーケティング」での取組が「全国高等学校ビジネスアイディア甲子園」で準グランプリを獲得するなど、教員の熱心な指導に、生徒達も頑張つて応えています。

最後になりましたが、進化論を唱えたダーウィンの残した言葉『最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き残るのである。』に、変化できる者である。』にある様に、生徒と教職員達は、コロナという試練に柔軟に対応しながら、それを乗り越え、新たな知恵を身に付けているように感じます。引き続き、教職員一同力を合わせて、指導を続けてまいりたいと思います。同窓会のますますの御発展と会員皆様の御健勝を祈念いたしますとともに、今後とも会員皆様の温かい御支援、御協力を心よりお願いし、会報発刊の御挨拶といたします。

## 「着任にあたり」

事務長 出口孝志



和商同窓会の皆様方には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より本校教育の充実発展のため、物心両面で多大なるご支援とご協力を賜りますこと、心よりお礼申し上げます。

私は昨年4月、百十余年の歴史と伝統のある和歌山商業高等学校に着任し、身が引き締まる思いとともに、責任の重さを感じております。

着任当初より小川理事長様はじめ、同窓会の皆様様の「母校愛」に何度となく接し、多くの卒業生の方々が築かれた和歌山商業高校の一員になれたことに感謝しております。

これからも、微力ではございますが、同窓会の皆様のお力添えをいただきながら、本校教育の更なる発展と地域から愛され信頼される学校作り邁進する所存でございますので、より一層のご支援ご協力並びにご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、和商同窓会の益々の発展と会員の皆様のご健康とご多幸を祈念し挨拶とさせていただきます。

## 生徒会活動で得た 貴重な経験

生徒会長 河口侑平

和商同窓会の皆様方には、ますますご清栄のことと存じ、お慶び申し上げます。

私は、高校生活を過ごした中で、三年間生徒会執行部の一員として活動させて頂きました。

入学式の日、緊張していた私達新入生に、多くの先輩方が声をかけてくださいました。様々なクラブ勧誘の中で、人の役に立てる生徒会活動に興味を持ち、所属を決めました。

私は生徒会活動に携わるのが初めてだったので、できるだけたくさんのお話を学ぼうと思いい、活動日は欠かさず参加していきましました。先輩方はとても親切で、どんなことも笑顔で教えてくださったことを今でも覚えております。

そんな先輩方と活動していくことで学校のことを多く知ることができ、そして、二年間の活動の中で、この大好きな学校で生徒会役員の皆と協力し、貢献したいという思いが強くなり、生徒会長への立候補を決めました。立候補を決めたとき、生徒会執行部やクラスの友人の応援がとても励みになり、期待に応えられるよう努力し、三年生から生徒会長

として活動をさせて頂きました。近年、新型コロナウイルスが猛威を振るい、学校では体育祭や文化祭などの行事の規模縮小や分散登校、私達の学年では修学旅行への影響もありました。そんな中でも、先生方のおかげで中止にはならず、体育祭は学年別で行われ、盛り上がる種目やフォークダンスを行うことができました。文化祭では生徒会主催で有志パフォーマーを開くことができました。生徒会での文化祭の計画や準備は役員の方々が放課後遅くまで残って進めました。全力で取り組んでいたことで、生徒の皆の盛り上がりを見ることができた時の達成感がとても大きく、最後の年に良い思い出を作ることができました。先生方、ありがとうございました。

私はこの三年間、いつも周りの人たちに助けをもらいながら過ごしました。共に活動し、助け合ってきた生徒会役員、学校生活を過ごす中で楽しみを共有し合った友達、勉強や悩みを真摯に向き合ってくれた先生方、この学校で出会った人達のおかげで成長することができ、今の私がいまです。本当に感謝してもしきれません。この三年間の貴重な経験は必ず次に繋がります。

最後になりましたが、和商同窓会の皆様方ますますのご発展とご多幸をお祈りいたします。結びの挨拶とさせていただきます。

## サッカー部 活動報告

顧問 木部 貴行

和商同窓会の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、和歌山商業サッカー部は、今年度3年生5人2年生10人1年生7人マネージャー4人で活動しております。

高校サッカーは、6月に総合体育大会、10月1月に選手権大会、1月2月に新人大会が開催されます。昨年度は新型コロナウイルスの影響をうけ総体が中止となりました。今年度、コロナ禍の中でもなんと総体が実施され、生徒達も胸をなで下ろしておりました。戦績は総体では2回戦突破、3回戦で強豪初芝橋本高校と対戦。力及ばず敗戦。秋の選手権大会でも2回戦を突破後またしても初芝橋本高校と対戦。2度目の苦杯を嘗めることとなりました。

年が明けての新人大会、2回戦を突破し、次はシード校の南陵高校との対戦が決まっております。(1月21日現在)

生徒達は「次こそ3回戦突破」と気合いがはいっております。折しも、新型コロナウイルス

で頂きます。本当に皆さんありがとうございました。

ルス「オミクロン株」が猛威をふるい、和歌山でも感染者数が急増しています。新人大会の継続も危ぶまれますが、無事継続して開催されることを願ってやみません。

三大大会の他に、高校サッカーではリーグ戦があります。もともとサッカーではリーグ戦文化が根付いています。世界を見回しても、4大リーグと言われるイングランドのプレミアリーグ、スペインのリーガエスバニョーラ、イタリアのセリエA、ドイツのブンデスリーガは、選手の質やクラブの規模で他を圧倒しています。4大リーグだけでなく、世界各国でリーグ戦が行われています。高校生の年代でも10年以上前からリーグ戦が行われるようになってきました。カテゴリー別に分かれており、最高峰がプレミアリーグ、続いてプリンスリーグ、その下に県リーグが存在します。県リーグも1部、2部、3部とわかれており、和商サッカー部は現在3部リーグで2部昇格をめざし、しのぎを削っています。

リーグ戦文化は、各学校部員数にあわせ複数チームの参加が可能です。そのためレギュラーの生徒だけでなく、すべての生徒に試合の経験を



積ませることができ、生徒の成長につながります。このことが日本サッカーの裾野をひろげ、それが、日本サッカーの強化につながっていきます。

ワールドカップ南アフリカ大会では和歌山出身の駒野選手が活躍しました。今後、和歌山からどんな選手が出てくるのか楽しみです。

最後になりましたが同窓会の皆様方の今後ますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。また、引き続き和商サッカー部の活動にご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。

### 第20回 全国高等学校ビジネスアイデア甲子園 準グランプリ受賞 2年 坂本季穂

私は、大阪商業大学主催の第二十回全国高等学校ビジネスアイデア甲子園で準グランプリに選出されました。今回考えたアイデアは「万能!! ストローペーパー」です。付箋の形をしており、一枚取って好みの太さに

丸めて粘着部分で固定してストローにするというものです。衛生的でとても簡単です。また、指に巻き付ける事で食べ物なども直接さわらずにかむ事ができます。

このアイデアを思いついたきっかけは、プラスチック削減が世界で進む中でプラスチックストローが紙ストローに変わり、さらにストロー自体がない店も増えてきている為、自分で持ち歩くことのできるストローがあればいいと考えたことでした。形を付箋のようにすることでかさばらず、折れず、鞆の隙間に入ることができるとするのが特徴です。紙なので、使用後はそのまま捨てることができ、衛生的にもよくSDGsにも貢献できると思います。

今回の最終審査のために、先生方にアドバイスをいただいたパワーポイントでプレゼンテーションの資料を作成し、発表動画を撮りました。自分の考えをどのようにすれば相手にわかりやすく伝えることができるのかを学ぶことができました。大変良い経験ができました。



## 令和3年度 ぼうさい甲子園 グランプリ受賞!

地域課題について、過去から現在・先輩から後輩へ地域との結びつきと一緒に「つながる」商業教育。地域情報コース情報系3年「電子商取引」の取組

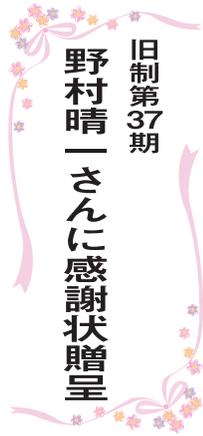
商業科 教諭 川口 敦志

「電子商取引」の授業では、平成31年より地域課題である南海トラフ地震に対する防災減災をテーマに取組を進めています。商業専門科目の学習を通して得たWebページや動画制作等の知識技術を、地域に還元できないか考え現在に至っています。これらの取組が評価され、兵庫県等が主催の17防災未来賞「ぼうさい甲子園」においてグランプリ(最優秀賞)を頂くことができました。小学生、中学生、高校生、大学生、特別支援学校・団体合わせて110校・団体の中心から初応募ながらグランプリを頂けたことは驚きであるとともに、脈々と和商の校風に受け継がれてきた物事や人間に対するひたむきさや実直な姿勢が形となって表れたのではないかと思います。

コンピュータやプログラミング等について専門的に学んでいる情報系3年生の生徒は15名です。本年度は、3班集体で3つのプロジェクトに取組ました。1. 防災植物の調理法紹介動画制作発信 2. 被災時における聴覚障がい者の困り感に着目したメッセージボード開発 3. 防災設備紹介



令和3年4月9日(金)、本校校長室にて1943(昭和18)年3月に卒業された旧制第37期生の野村晴一さんに中村校長先生から感謝状が贈呈されました。



旧制第37期 野村晴一さんに感謝状贈呈



ぼうさい甲子園 特設サイト QR コード

取組一覧ページ QR コード

このように取り組めるのも地域の皆様のご協力、同窓会の皆様のおかげです。また、同窓会からは授業に際し、温かいご支援賜りましたこと深く感謝申し上げます。生徒作成のWebページもQRコードからアクセスできます。生徒たちの学びが、皆様の防災減災の一助となれば幸いです。



- (旧制和商 校訓)
1 聖詞を奉載し皇国の道に帰一すべし
2 自我高利を排し商道の本義に徹すべし
3 信義を重んじ礼節を守り敬愛の誠を致すべし
4 質実剛健を旨とし堅忍悔悟の実行力を養うべし
5 つとめて身体を鍛錬し負荷の大任に備うべし



野村さんは大正15年生まれ、昭和53年から平成28年まで和商同窓会で理事(平成13年から副理事長)を務められました。理事に就任してから現在まで40年以上の間、卒業式のお祝金を毎年本校に贈っていただき、その母校愛に対する敬意と感謝の意を表すため、今回の贈呈が行われました。また、同窓会からも花束を贈呈しました。感謝状を受け取った野村さんは「私の座右の銘は、旧制和商の校訓です。このような感謝状を母校から受け取る機会が、とても嬉しいです。」と喜んでおられました。

クラス同窓会委員

(新71期生)

◎印は学年代表

- 1組 武内 優斗 寒川 瑛平 5組 浦川 柁晟 石橋 錬
2組 ◎ 平井 愛士 畑中亜佑武 6組 橋爪 健人 前田 透也
3組 木路 颯太 木野 敦也 7組 山東 愛都 臼杵 奈緒
4組 ◎ 阪口 愛 山田 紗月

事務局からのお知らせとお願い

◎各期での同窓会、クラブOB会等の催しを開催される時はご一報・ご投稿下さい。ホームページ・フェイスブックを開設しています。ホームページアドレス http://www.washo-dosokai.net/index.html または、「公益社団法人和商同窓会」と検索して下さい。

本校の進路動向

令和4年2月1日現在

Table with columns for company names, counts, and destinations. Includes categories like '4-year university', 'short-term university', and 'specialized school'.